

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
数学	数学Ⅱ	4	2	二年生 選択者

使用教科書	副教材等
新編 数学Ⅱ (数研出版)	チャート式 解法と演習数学Ⅱ+B (数研出版), 改訂版 クリアーⅡ+B (数研出版)

科目の目標 (1) いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。(2) 数の範囲や式の性質に着目し等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察する力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。(3) 数学のよさを認識し, 数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。

評価方法
定期テスト, 小テスト, 課題レポートやその他提出物等への取り組み状況, 授業への取り組み状況 等

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③

第1章 式と証明

4 5	第1節 式と計算	1, 3次式の展開と因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し, それらを用いて式の展開や因数分解をする。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し, 簡単な場合について計算をする。 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する。 	○		○
		2, 二項定理		○		
		3, 多項式の割り算		○		
		4, 分数式とその計算		○		
		5, 恒等式		○		
	補充問題		○	○		
5	第2節 等式・不等式の証明	6, 等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・実数の性質や等式の性質, 不等式の性質などを基に, 等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し, 証明する。 	○	○	
		7, 不等式の証明		○		
		補充問題		○	○	

第2章 複素数と方程式

5	第1節 複素数と2次方程式	1, 複素数とその計算	<ul style="list-style-type: none"> ・数を複素数まで拡張する意義を理解し, 複素数の四則計算をする。 ・二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解する。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 方程式を問題解決に活用する。 	○		
		2, 2次方程式の解		○		
		3, 解と係数の関係		○	○	
		補充問題		○	○	
	第2節 高次方程式	4, 剰余の定理と因数定理	<ul style="list-style-type: none"> ・剰余の定理や因数定理を利用して高次方程式を解く。 	○		
		5, 高次方程式		○		
		補充問題		○		
		章末問題		○	○	

第3章 図形と方程式

5	第1節 点と直線	1, 直線上の点	<ul style="list-style-type: none"> ・座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表す。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表す。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2, 平面上の点		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3, 直線の方程式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4, 2直線の関係		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補充問題	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6	第2節 円	5, 円の方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察する。 ・軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求める。 ・簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりする。 ・数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		6, 円と直線		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		7, 2つの円		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補充問題	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	第3節 軌跡と領域	8, 軌跡と方程式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9, 不等式の表す領域	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
補充問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
章末問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

第4章 三角関数

7	第1節 三角関数	1, 角の拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。 ・三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解する。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察する。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。 ・三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解する。 ・三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導く。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2, 三角関数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3, 三角関数のグラフ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4, 三角関数の性質		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		5, 三角関数の応用		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		補充問題		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第2節 加法定理	6, 加法定理		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7, 加法定理の応用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
補充問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

第5章 指数関数と対数関数

9 10	第1節 指数関数	1, 指数の拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をする。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をする。 ・対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2, 指数関数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		補充問題		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第2節 対数関数	3, 対数とその性質		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4, 対数関数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5, 常用対数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
補充問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

第6章 微分法と積分法

10	第1節 微分係数と導関数	1, 微分係数	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求める。 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解する。 ・関数とその導関数との関係について考察する。 ・関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求める。 ・微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2, 導関数とその計算		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3, 接線の方程式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		補充問題		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	第2節 関数の値の変化	4, 関数の増減と極大・極小	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		5, 関数の増減・グラフの応用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		補充問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
12	第3節 積分法	6, 不定積分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		7, 定積分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		8, 定積分と面積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		補充問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
数学	数学 I	3	2	文系数学IA選択者

使用教科書	副教材等
	新課程 基本と演習テーマ 数学I+A チャート式 解法と演習数学 I +A(数研出版)

科目の目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会的な事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会的な事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

評価方法
記述の点検、確認、分析 行動の点検、確認、分析 (定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取り組み状況、授業への取り組み状況 等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	第1章 数と式 式の計算	多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解	2次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 問題の解決する際に、既習の計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。	○	○	○
	実数	実数 根号を含む式の計算	数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算する。	○		
	1次不等式	1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 絶対値を含む方程式・不等式	不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求める。 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察する。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用する。	○	○	○
	第3章 2次関数					

5	2次関数とグラフ	関数とグラフ 2次関数のグラフ	2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 2次関数の式とグラフの関係について、情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	○		○	○
	2次関数の値の変化	2次関数の最大・最小 2次関数の決定	2次関数の最大値や最小値を求める。	○			
6	2次方程式と2次不等式	2次方程式 2次関数のグラフとx軸の位置関係 2次不等式	2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求める。 2つの数量の関係に着目し、日常や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決し、解決の過程を振り返って事象の数学的特徴や他の事象との関係を考察する。	○		○	○
			2次関数について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。				○
7	第2章 集合と命題	命題と条件 命題とその逆・対偶・裏 命題と証明	集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 集合の考え方をを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する。	○		○	○
			数と式について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。				○
9	第4章 図形と計量	三角比	鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。	○		○	○
	三角形への応用	三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、公式として導く。 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理として導く。 図形の構成要素間の関係に着目し、日常や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決し、解決の過程を振り返って事象の数学的特徴や他の事象との関係を考察する。	○		○	○
			図形と計量について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。				○
10	第5章 データの分析	データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 2つの変量の間の関係 仮説検定の考え方	分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理し、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求める。 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する。 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。	○		○	○
			データの分析について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。	○			○

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
数学	数学B	2	2	二年生 選択者

使用教科書	副教材等
新編 数学B (数研出版)	チャート式 解法と演習数学II+B(数研出版), 新課程 クリアーII+B(数研出版)

科目の目標

(1) 数列, 統計的な推測について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。(2) 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。(3) 数学のよさを認識し, 数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

評価方法

記述の点検, 確認, 分析
 行動の点検, 確認, 分析
 (定期テスト, 小テスト, 課題レポートやその他提出物等への取り組み状況, 授業への取り組み状況 等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③

第1章 数列

4	第1節 等差数列と等比数列	1, 数列と一般項	<ul style="list-style-type: none"> 等差数列と等比数列について理解し, それらの一般項や和を求める。 事象から離散的な変化を見だし, それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する。 	○	○	○
		2, 等差数列		○	○	○
3, 等差数列の和	○	○		○		
4, 等比数列	○	○		○		
5, 等比数列の和	○	○		○		
5	第2節 いろいろな数列	補充問題	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解する。 事象の再帰的な関係に着目し, 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 数列の考えを問題解決に活用する。 	○	○	○
		6, 和の記号Σ		○	○	○
		7, 階差数列		○	○	○
6	第3節 漸化式と数学的帰納法	8, いろいろな数列の和	<ul style="list-style-type: none"> 漸化式について理解し, 事象の変化を漸化式で表したり, 簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりする。 数学的帰納法について理解する。 	○	○	○
		補充問題		○	○	○
7	第3節 漸化式と数学的帰納法	9, 漸化式	<ul style="list-style-type: none"> 自然数の性質などを見だし, それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに, 他の証明方法と比較し多面的に考察する。 	○	○	○
10, 数学的帰納法		○		○	○	
9	第3節 漸化式と数学的帰納法	10, 数学的帰納法		○	○	○

第2章 統計的な推測

9	第1節 確率分布	1, 確率変数と確率分布	<ul style="list-style-type: none"> 標本調査の考え方について理解を深める。 確率変数と確率分布について理解する。 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解する。 正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解する。 	○	○	○	
		2, 確率変数の期待値と分散		○	○	○	
3, 確率変数の和と積	○	○		○			
10	第1節 確率分布	4, 二項分布		<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて標本調査を設計し, 収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして, 母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに, 標本調査の方法や結果を批判的に考察する。 	○	○	○
		5, 正規分布			○	○	○
11	第2節 統計的な推測	補充問題		○	○	○	
		6, 母集団と標本		○	○	○	
12	第2節 統計的な推測	7, 標本平均の分布		○	○	○	
		8, 推定		○	○	○	
1	第2節 統計的な推測	9, 仮説検定		○	○	○	
		○		○	○		

数列、統計的な推測 演習

2	数列、統計的な推測 演習	9, 仮設検定 補充問題 問題演習	・確率分布や標本分布の特徴を, 確率変数の平均, 分散, 標準偏差などを用いて考察する。	○	○	○
---	--------------	----------------------	--	---	---	---

令和8年度 2年次 教科シラバス

教科	科目	単位数	学年次	集団
数学	数学A	1	2	文系数学IA選択者

使用教科書	副教材等
	新課程 基本と演習テーマ 数学I+A チャート式 解法と演習数学 I + A(数研出版)

科目の目標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について理解を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間関係に着目し、図形の性質をや見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	図形の構成要素間関係に着目し、図形の性質をや見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしていたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。

評価方法
記述の点検、確認、分析 行動の点検、確認、分析 (定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取り組み状況、授業への取り組み状況 等)

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
10	第1章 場合の数と確率 場合の数	集合の要素の個数	集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する。	○		
		場合の数	具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列や組合せの総数を求める。	○		
		順列	事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。		○	○
		組合せ				
11	確率	事象と確率	確率の意味や基本的な法則について理解を深め、それらを用いて事象の確率を求める。	○		
		確率の基本性質	独立な試行の意味を理解し、その確率を求める。	○		
		独立な試行と確率	条件付き確率の意味を理解し、その確率を求める。	○		
		条件付き確率	確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察する。		○	○
		期待値	確率の意味や基本的な法則について理解を深め、それらを用いて期待値を求める。 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりする。	○		○
			場合の数と確率について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。			○

12	第2章 図形の性質					
	平面図形	<p>三角形の辺の比</p> <p>三角形の外心・内心・重心</p> <p>チェバの定理・メネラウスの定理</p> <p>円に内接する四角形</p> <p>円と直線</p> <p>2つの円</p>	<p>三角形に関する基本的な性質について理解する。</p> <p>円に関する基本的な性質について理解する。</p> <p>空間図形に関する基本的な性質について理解する。</p> <p>図形の構成要素間の関係や既習の図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりする。</p> <p>コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察する。</p>	○	○	○
1	空間図形	<p>直線と平面</p> <p>空間図形と多面体</p>				
			図形の性質について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。			○
2	第3章 数学と人間の活動					
		<p>約数と倍数</p> <p>素数と素因数分解</p> <p>最大公約数・最小公倍数</p> <p>整数の割り算</p> <p>ユークリッドの互除法</p> <p>1次不定方程式</p> <p>記数法</p>	<p>数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解する。</p> <p>数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させて考察する。</p>	○	○	○
			数学と人間の活動について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。			○